

## オーストラリアと日本の交通ルールについて

川緑 拓実 (高校1年)

キャンデン滞在中、現地での移動にバスや車を使う場面が多くありましたが、シートベルト着用について呼びかけられなかった事は一度もありませんでした。また、道路や町中で見かける自転車に乗った人は、全員ヘルメットをかぶっていました。これ等のことから僕がオーストラリアについて感じた事は、オーストラリアの人々は日本やほかの国と比べて安全やルールに厳しいのだろうという事です。そこでオーストラリアの決まり事について調べていこうと思います。

ジェイウォーク (jaywalk) \* 交通ルールを無視した歩き方を表す英単語

- ・ 信号が青の時のみ車道を横断する。(赤の点滅で渡るとルール違反)
- ・ 信号、横断歩道のない車道を渡ってはいけない。
- ・ 自転車に乗るときはヘルメットを被る。
- ・ 路上での飲酒行為。

上がジェイウォークの一部です。僕はシドニーの横断歩道を赤信号の点滅(オーストラリアの信号は青と赤の二色のみ)で渡ってしまったことがあったので、ジェイウォークを知った時はゾッとしました。日本の青信号の点滅と同じようなものだろと思って渡りましたが、やはり海外なので日本と同じわけないなと改めて思いました。

他にも電車やバスについてのルールがありますが、無賃電車や車内での飲食禁止などあまり日本と変わりません。

### 罰金

実は上で紹介したルールを破ると罰金が科せられてしまいます。オーストラリアは日本に比べて罰金額が高く、交通ルールに対する罰則は厳しいそうです。具体的にどんなところが厳しいのかというと、オーストラリアでは多くの警察官が歩道に立ち取り締まっています。実際に僕も警察官の方を何度か見ました。信号違反の罰金額は2019年の時点で75ドル以上となっています。(75ドルは日本円で5400円ぐらい)

なぜオーストラリアはルール違反に厳しい国かということ、交通事故の件数が毎年非常に多く、それがオーストラリア国内で問題になっている事が背景にあるようです。

### まとめ

僕が感じたように、オーストラリアの人々は日々安心して暮らせるようルールや安全についてしっかり意識していることがよく分かりました。今回の派遣生たちが事故に合わず、スリなどの犯罪に巻き込まれずに帰ってこられたのも、この国民性やしっかりしたルールのおかげだと思います。一見厳しいルールだらけのようにも見えますが、そのルールのおかげで自由で安全に生活できるバランスのとれた国だということが分かりました。絶対にもう一度行きたいです。



オーストラリアの信号